

# プログラム

第2日目



## 2月28日(土) 第1会場(テルサホール)

### シンポジウム6 ● 非機能性下垂体腺腫の診断と治療および長期成績

9:00~10:00

座長：富永 篤(広島大学医学部 脳神経外科)

佐伯 直勝(千葉大学大学院 医学研究院 脳神経外科学)

- S6-1 単一施設における非機能性腺腫、ラトケ嚢胞の自然歴の検討  
廣畑 倫生(東京大学 医学部 脳神経外科)
- S6-2 非機能性下垂体腺腫の subtype における biological activity の検討  
碓井 智(広島大学 脳神経外科)
- S6-3 内視鏡下経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出後の下垂体前葉機能回復  
米岡有一郎(新潟大学 脳研究所 脳神経外科)
- S6-4 海綿静脈洞へ伸展する下垂体腺腫に対する内視鏡下拡大蝶形骨洞手術  
谷岡 大輔(昭和大学 医学部 脳神経外科)
- S6-5 非機能性下垂体腺腫に対する拡大経鼻手術：適応と成績  
西岡 宏(虎の門病院 間脳下垂体外科)
- S6-6 下垂体腺腫に対するノバルリスを用いた通常分割定位放射線治療の成績  
村田 大樹(京都大学 医学部 脳神経外科)

### シンポジウム7 ● 診断と治療の難しかった症例：悪性腫瘍

10:00~11:00

座長：西澤 茂(産業医科大学 脳神経外科)

大畑 建治(大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学)

- S7-1 乳癌下垂体転移に対する治療：チーム医療による管理の重要性  
林 央周(静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科)
- S7-2 視神経膠腫に対する治療戦略  
西澤 茂(産業医科大学 医学部 脳神経外科)
- S7-3 トルコ鞍部神経芽腫の診断と治療  
吉本 幸司(九州大学大学院医学研究院 脳神経外科)
- S7-4 診断・治療が困難だった primary sellar melanocytoma ~頭部単純 MRI にて T1WI high を呈する鞍内腫瘍~  
坂田 清彦(久留米大学病院 脳外科)
- S7-5 テモゾロミド治療が奏功し7年以上の長期完全寛解(CR)を維持している Crooke's cell carcinoma によるクッシング病の一例  
竹下 彰(虎の門病院 内分泌代謝科)

- S7-6 7年の経過で atypical adenoma から pituitary carcinoma への経緯を観察し得た難治性 Cushing 病とその腫瘍の分子遺伝学的解析  
臼井 健 (国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター)

**一般演題 9 ● 症例：先端巨大症、中枢性尿崩症**

**11:00~11:40**

座長：高橋 裕 (神戸大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学)

- O9-1 アスリートの成長ホルモン産生下垂体腺腫に対する治療  
石井 尚登 (順天堂大学 医学部 脳神経外科)
- O9-2 グルコース負荷試験で成長ホルモンの著明な奇異性上昇を示し、インクレチンの関与が考えられた先端巨大症の1例  
荒井 誠 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 内分泌代謝科)
- O9-3 ラトケ嚢胞を合併した先端巨大症の1例  
児玉 邦彦 (長野市民病院)
- O9-4 様々な画像変化を来した先端巨大症の一例  
福井 彩子 (独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 糖尿病・内分泌内科)
- O9-5 くも膜下出血後の渴中枢障害を伴う中枢性尿崩症にデスマプレシン経口薬を導入した一例  
綿貫 裕 (大館市立総合病院 内分泌代謝内科)

**ランチョンセミナー 4**

**12:00~13:00**

座長：高橋 裕 (神戸大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学)

- LS4 The Rationale of Combined Treatment in All Acromegaly Patients  
A.J. van der Lely (Professor of Department of Internal Medicine, Head of Section of Endocrinology, Erasmus University MC, Rotterdam, The Netherlands)  
共催：ファイザー株式会社

**特別講演 2**

**13:00~13:50**

座長：山田 正三 (虎の門病院 間脳下垂体外科)

- SS2-1 Challenge in the management of patients with pituitary tumours : A neurosurgeon's perspective  
Michael D. Cusimano (Division of Neurosurgery, St. Michael's Hospital  
Professor of Neurosurgery, Education and Public Health,  
University of Toronto, Canada)

## 教育講演 2

13:50~14:30

座長：嘉山 孝正（山形大学医学部 脳神経外科）

- EL2 機能性下垂体腺腫の外科的治療  
山田 正三（虎の門病院間脳下垂体外科 副院長）

## シンポジウム 8 ● 診断と治療の難しかった症例：下垂体腺腫

14:30~15:30

座長：松野 彰（帝京大学医学部 脳神経外科）  
田中雄一郎（聖マリアンナ医科大学 脳神経外科）

- S8-1 動脈瘤を合併した下垂体腺腫の治療戦略  
石井 雄道（帝京大学 医学部 脳神経外科 下垂体・内視鏡手術センター）
- S8-2 未破裂内頸動脈瘤を合併した巨大下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術  
河内 大輔（千葉大学医学部 脳神経外科）
- S8-3 未破裂脳動脈瘤を合併した非機能性下垂体腺腫の2例  
迫口 哲彦（県立広島病院 脳神経外科）
- S8-4 Giant pituitary adenoma に対する治療戦略  
西澤 茂（産業医科大学 医学部 脳神経外科）
- S8-5 巨大下垂体腺腫に対する経鼻内視鏡手術：摘出困難例の検討  
矢野 茂敏（熊本大学 大学院 生命科学研究部 脳神経外科）
- S8-6 伸展形式から見た巨大下垂体腺腫の治療戦略  
永谷 哲也（名古屋第二赤十字病院 脳神経外科 神経内視鏡センター）

## シンポジウム 9 ● 診断と治療の難しかった症例：炎症性疾患

15:30~16:30

座長：中尾 直之（和歌山医科大学 脳神経外科）  
立花 修（金沢医科大学 脳神経外科）

- S9-1 蝶形骨洞海綿静脈洞部、侵襲性アスペルギルス症への対応と生検術の経験  
登坂 雅彦（群馬大学 医学部 脳神経外科）
- S9-2 術前診断に苦慮した鞍内から鞍上部に進展する非下垂体腺腫腫瘍性病変：最近の12症例の検討  
鮫島 哲朗（浜松医科大学 脳神経外科）
- S9-3 再発時頭蓋咽頭腫の病理像を呈したトルコ鞍黄色肉芽腫の小児例  
藤田 浩二（和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科）
- S9-4 診断と治療に難渋した multiple intracranial juvenile xanthogranuloma の一例  
千葉謙太郎（東京女子医大病院 脳神経外科）
- S9-5 経蝶形骨洞的下垂体手術後の経過観察中に生じた下垂体炎の検討  
山本 航（総合南東北病院 下垂体疾患研究所）

S9-6 両側難治性中耳炎と中枢性尿崩症を呈した ANCA 関連血管炎性肥厚性硬膜炎・下垂体炎の一例  
廣田 圭昭 (国立病院機構京都医療センター 内分泌・代謝内科)

## 2月28日(土) 第2会場(セミナー室)

### 一般演題 10 ● 検査・診断

9:20~10:00

座長：笠山 宗正 (公益財団法人日本生命済生会付属日生病院)

- O10-1 IGF-1 SDS 健診で detect できた GH 産生腺腫  
松山 純子 (将道会総合南東北病院 脳神経外科)
- O10-2 先端巨大症新治癒判定基準における、TRH 負荷試験の意義  
藤尾 信吾 (鹿児島大学大学院 歯学総合研究科 脳神経外科学)
- O10-3 先端巨大症術後1年目の血中 IGF-I 正常例における術後 OGTT での GH 底値の検討  
福田いずみ (東京女子医科大学 第二内科)
- O10-4 プロラクチノーマと高 PRL 血症性ラトケ嚢胞との鑑別：GHRP-2 負荷試験の有用性  
小野 昌美 (新百合ヶ丘総合病院 内分泌代謝科)
- O10-5 非機能性下垂体腺腫とプロラクチノーマの鑑別における PRL 基礎値及び GHRP2 負荷試験の有用性  
向井 康祐 (大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学)

### 一般演題 11 ● 症例：ラトケ嚢胞

10:00~11:00

座長：阿部 琢巳 (川崎南部病院 脳神経センター)

- O11-1 ステロイド治療を施行した症候性ラトケ嚢胞3例の検討  
河野 貴史 (千葉大学 医学部 医学研究院 細胞治療内科学)
- O11-2 稀な病態を呈したラトケ嚢胞症例について  
黒崎 雅道 (鳥取大学 医学部 脳神経外科)
- O11-3 ラトケ嚢胞術後の tension pneumocyst  
佐藤 拓 (福島県立医科大学 医学部 脳神経外科)
- O11-4 急激に進行し汎下垂体機能不全に至った小児ラトケ嚢胞の1手術例  
池田 直廉 ((公財)田附興風会 医学研究所 北野病院 脳神経外科)
- O11-5 妊娠中にラトケ嚢胞内出血をきたしたと考えられる一例  
山形 聡 (青森県立中央病院 糖尿病センター・内分泌内科)
- O11-6 脳梗塞発症を契機に発見された症候性ラトケ嚢胞の1例  
瓜生 康浩 (独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター 脳神経外科)
- O11-7 外眼筋麻痺で発症したラトケ嚢胞5症例の検討  
近藤 宏治 (北里大学メディカルセンター 脳神経外科)

一般演題 12 ● 症例：下垂体卒中、その他

11:00~11:50

座長：小川 欣一（財団法人広南会広南病院 臨床研究部）

- O12-1 内頸動脈閉塞を呈した下垂体卒中の1例  
若林 健一（豊橋市民病院 脳神経外科）
- O12-2 基底核部に脳梗塞を生じた下垂体卒中の1例  
新堂 敦（香川大学 医学部 脳神経外科）
- O12-3 頭蓋咽頭腫に対する経鼻的下垂体腫瘍術後に脳血管攣縮を呈した1例  
中島 伸幸（東京医科大学 脳神経外科）
- O12-4 およそ5年の経過で術後残存腫瘍が自然消褪した頭蓋咽頭腫の一例  
丹下 祐一（順天堂大学 医学部 脳神経外科）
- O12-5 経過観察中に xanthogranulomatous change を来した下垂体腺腫の一手術例  
長田 優衣（久留米大学病院 脳神経外科）
- O12-6 斜台部異所性下垂体腺腫の一例  
遠藤 俊毅（広南病院 脳神経外科）

ランチョンセミナー 5

12:00~13:00

座長：杉原 仁（日本医科大学大学院医学研究科 内分泌糖尿病代謝内科学）

- LS5 内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術の現状 -基礎から応用まで-  
田原 重志（日本医科大学 脳神経外科）

共催：JCR ファーマ株式会社

一般演題 13 ● 症例：炎症、膿瘍、その他

14:30~15:20

座長：臼井 健（独立行政法人国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター）

- O13-1 GH、IGF-1 高値に惑わされた二次性肉芽腫性下垂体炎の一例  
岸田 悠吾（福島県立医科大学 医学部 脳神経外科）
- O13-2 中枢性尿崩症のみを来したサルコイドーシス  
田村 哲郎（新潟県立中央病院 脳神経外科）
- O13-3 下垂体膿瘍の2手術例  
竹重 暢之（久留米大学病院 脳外科）
- O13-4 敗血症性ショックと中枢性副腎不全にて発症した下垂体膿瘍の一例  
稲葉 眞貴（秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科）
- O13-5 高 ACTH 血症を伴った Pituicytoma の1症例  
南部 育（金沢大学 脳神経外科）



- O13-6 下垂体前葉機能低下症にて発症した下垂体細胞腫の1例  
相見 有理 (市立四日市病院 脳神経外科)

一般演題 14 ● 症例：PRL 腺腫、TSH 腺腫、その他

15:20~16:00

座長：福田いずみ (東京女子医科大学 第二内科)

- O14-1 石灰化を伴ったプロラクチン産生性下垂体腺腫の1例  
武石 剛 (宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野)
- O14-2 画像上著明な石灰化を示したプロラクチン産生腺腫の一例  
大橋元一郎 (総合南東北病院 下垂体疾患研究所)
- O14-3 Parkinson 病を合併し診断に苦慮した TSH 産生腫瘍の一例  
駒井 絵里 (千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科)
- O14-4 McCune Albright 症候群に伴い mixed somatotroph lactotroph adenoma を発症した一例  
大澤 祥 (群馬大学 医学部 脳神経外科)
- O14-5 10年間の長期にわたりオクトレオチド徐放剤およびアレンドロネート投与で安定している McCune-Albright 症候群の1例  
飯田 啓二 (兵庫県立加古川医療センター 糖尿病・内分泌内科)

## 2月28日(土) 第3会場(大会議室)

### 一般演題 15 ● 症例：ACTH 腺腫

9:20~10:00

座長：蔭山 和則(弘前大学大学院 医学研究科 内分泌代謝内科学講座)

- O15-1 下垂体卒中と尿崩症で発症したクッシング病の一例  
山川 文子(中京病院)
- O15-2 小児下垂体腺腫の一例  
中久木卓也(彦根市立病院 脳神経外科)
- O15-3 下垂体卒中後に血中 cortisol 異常高値を示した silent corticotroph adenoma と考えられる2例  
新田 恭子(金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学)
- O15-4 腫瘍内出血にて発症した silent mixed corticotroph and somatotroph macroadenoma の1例  
大石 正博(金沢大学 脳神経外科)
- O15-5 先端肥大症を呈した silent ACTH 産生巨大腺腫と GH 産生腺腫の重複下垂体腺腫の一例  
竹田 朋子(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 内分泌代謝科)

### 一般演題 16 ● 薬物治療

10:00~10:40

座長：高野 幸路(北里大学医学部内分泌代謝内科学)

- O16-1 先端巨大症に対するランレオチドの治療経験 12症例の検討  
齋藤 洋一(大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経機能再生学)
- O16-2 本邦先端巨大症における AIP 遺伝子変異の頻度とカベルゴリンの有用性  
松本 隆作(神戸大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学)
- O16-3 統合失調症に合併したプロラクチノーマの薬物療法について  
高橋 麻由(産業医科大学 医学部 脳神経外科)
- O16-4 中枢性尿崩症に対するデスマプレシン口腔内崩壊錠の投与は食後でも有効である  
伊藤 純子(虎の門病院 小児科)
- O16-5 男性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症における性腺ホルモン補充療法が Quality of Life に与える影響  
加藤慶太郎(神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)

- O17-1 下垂体腺腫に肺がんが転移した一例  
佐藤 祐介（名古屋大学 医学部 脳神経外科）
- O17-2 下垂体転移をきたした腎細胞癌の2例  
名柄 江満（東京女子医科大学病院 脳神経外科）
- O17-3 下垂体偶発腫で発見され、肺腺癌の下垂体単発転移と診断された1例  
天野 綾（倉敷中央病院 内分泌代謝・リウマチ内科）
- O17-4 下垂体部悪性リンパ腫の2例  
村上 友太（福島県立医科大学 脳神経外科）
- O17-5 三側性網膜芽細胞腫の1例  
高野 昌平（愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）
- O17-6 下垂体腺腫に対する放射線照射30年後に生じた下垂体線維肉腫の1例  
岩楯 兼尚（福島県立医科大学 脳神経外科）